

決算速報
三菱UFJ オーストラリア債券ファンド(毎月分配型)【愛称:夢満債(豪ドルコース)】の運用状況<速報>

追加型投信/海外/債券

当ファンドは3月9日に第76期の決算を迎えました。運用状況についてご報告申し上げます。なお、運用経過の詳細につきましては、マンスリーレポート等をご参照ください。

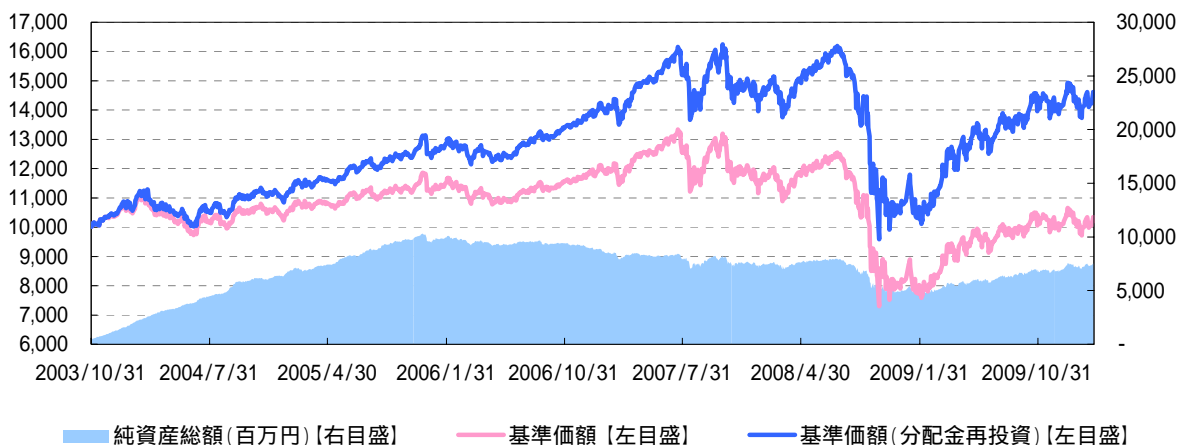
三菱UFJ オーストラリア債券ファンド(毎月分配型)【愛称:夢満債(豪ドルコース)】は、2010年3月9日に第76期決算を迎えました。当期の分配金は、1万口当たり70円(税引前)といたしました。

当期の運用状況について

3月2日にRBA(豪州連邦準備銀行)は0.25%の利上げを実施しましたが、債券市場への影響は限定的でした。株式や商品市況が落ち着きを取り戻し始めたことや、雇用指標の改善など豪州国内経済の回復基調が明確化したことから豪ドルが買われる展開となりました。こうした環境の下、基準価額は3月9日現在、10,215円となりました。また、基準価額の水準を鑑み、当期の分配金額を1万口当たり70円(税引前)といたしました。

今後の分配金の見通しについて

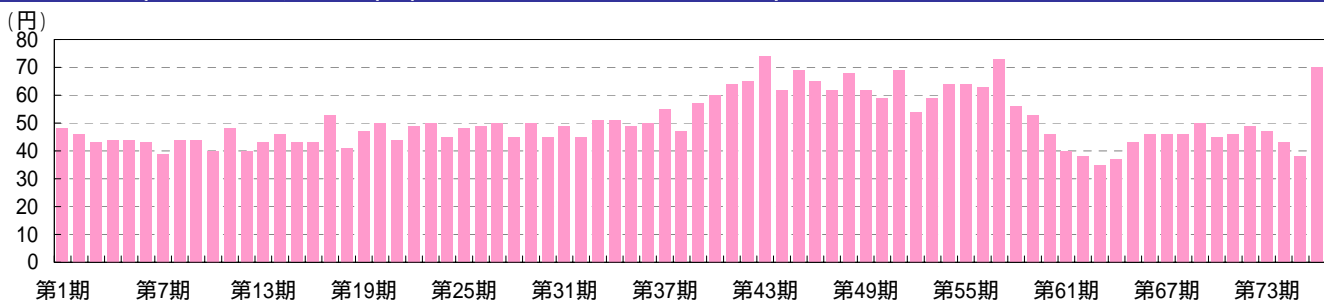
次回(2010年4月)以降の分配金額につきましても、安定性に配慮しつつファンドの分配方針にしたがって決定いたします。ただし、基準価額水準、市況動向等により分配金額が変更される、あるいは分配金が支払われない場合がございます。

運用状況(基準価額の推移) (2003年10月31日～2010年3月9日)


基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日前営業日を10,000として指数化しています。

基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.1025%(税抜1.05%))控除後の値です。

基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配金実績 (1万口当たり、税引前) (2003年10月31日～2010年3月9日)


運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

(注)当資料中のグラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

次ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ オーストラリア債券ファンド(毎月分配型)【愛称:夢満債(豪ドルコース)】
ファンドの特色

- ・主として高格付の豪ドル建ての公社債に投資します。
- ・投資にあたりましては、豪ドル建てのオーストラリアの国債、政府機関債、A格相当以上の格付を有する州政府債および政府保証債等、ならびにオーストラリア以外のA格相当以上の格付を有する豪ドル建ての政府機関債および国際機関債等に分散投資を行います。
- ・運用にあたりましては、ポートフォリオの加重平均デュレーションを2年以上8年以内とします。
- ・原則として毎月、収益を分配します。
- ・組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。

商品概要

設定日 : 2003年10月31日
 決算日 : 原則として、毎月9日(休業日の場合は翌営業日)
 信託期間 : 無期限
 ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。

ベンチマーク : 規定しておりません。

お買付け申込み・中途換金 : 原則として、いつでもお買付け申込み、換金のお申込みができます。ただし、シドニー先物取引所の休業日、シドニーの銀行の休業日およびその他シドニーにおける債券市場の取引停止日に該当する日については、お買付・中途換金のお申込みができません。

申込価額 : 申込受付日の翌営業日の基準価額

【お客さまには以下の費用をご負担いただけます。】

申込時に直接ご負担いただく費用
 申込手数料 : 申込価額 × 1.575% (税抜 1.5%) を上限として販売会社が定める手数料率
 換金時に直接ご負担いただく費用
 信託財産留保額 : 換金申込日の翌営業日の基準価額に 0.1% を乗じた額
 保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 信託報酬 : 純資産総額に対して、年率 1.1025% (税抜 1.05%)
 その他費用(*) : 売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用、先物取引・オプション取引等に要する費用等

(*)「その他費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

(課税関係) 個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
 当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

【お申込不可日について】2010年の該当日は1月26日、4月2日、4月5日、4月26日、6月14日、8月2日、10月4日、12月27日、12月28日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

当ファンドは、主に公社債を投資対象としますので、金利変動により組入公社債の価格が下落すること、組入公社債の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により組入公社債の価格が下落すること等で当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資家のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当ファンドの主な投資リスクとして、組入公社債の価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク等があります。

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/ 金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入していません。/ 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/ 投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。/ 投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。/ 運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。/ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/ 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/ 当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

設定・運用 ...三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 (社)投資信託協会/(社)日本証券投資顧問業協会
 <お客様専用フリーダイヤル> 0120-151034 (毎営業日の9:00 ~ 17:00)
 <オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>
 基準価額・分配金をメール配信 <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
 (*メール配信対象外ファンドもあります。)

三菱UFJ オーストラリア債券ファンド(毎月分配型)【愛称:夢満償(豪ドルコース)】
当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

市場リスク	<p>(価格変動リスク) 当ファンドは、公社債を主要投資対象としており、公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> <p>(為替変動リスク) 主要投資対象である海外の公社債は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
信用リスク	<p>信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
流動性リスク	<p>有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当ファンドは、一定の運用成果を保証するものではありません。 ・当ファンドは、原則として毎期収益分配を行う方針ですが、毎期一定水準の収益分配金の支払いを保証するものではなく、収益分配金額は運用実績に応じて変動します。 なお、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

前ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

